

2016年5月30-31日

SGH 仙台交流プログラムの一環として、5月30日～31日に東京研修・視察を実施しました。

SGH 仙台交流プログラム（DR3 プロジェクト）は、以下の様なテーマ、目的で活動しています。

1. テーマ

神戸大学附属中等教育学校 SGH 「震災・復興とリスクマネジメント」

震災（Disaster）・復興(Reconstruction)・減災（Reduction）・レジリエンス（Resilience）（DR3）をテーマとした仙台交流プログラム（通称：DR3）

2. 目的

被災地体験を共有する神戸市と仙台市の高校生・大学生が交流しながら、大規模震災に対するリスクマネジメントについて多角的な視点から学ぶ。

具体的には、神戸大学附属中等教育学校と仙台周辺の高校生・大学生が交流しながら、

- (1) 身近な地域に起こった、あるいは今後起こるであろう自然災害について共に学ぶ
- (2) 震災遺構見学や語り部講話などを通して震災の記憶をどのように後世に伝えていくかを共に考える
- (3) 津波堆積物ボーリング調査などを通して、自然科学的研究手法から震災を捉え、理解する
- (4) 上記活動を通して、他を思いやることのできる生徒を共に目指すことを主たる目的とする。



東京大学地震研究所



東大安田講堂にて



復興庁にて活動報告



復興庁事務次官との記念撮影



国土交通省・観光庁視察・ワークショップ



国土交通省大臣会見室にて記念撮影



気象庁現業室見学



同左



東京消防庁本所防災館 地震体験



東京消防庁本所防災館 消火体験



ウェザーニューズ社企業訪問



天気予報キャスターとの記念撮影